

事務事業名	文化施設修繕事業		所属部	教育委員会	所属課	文化財課
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	文化財・文化振興グループ	課長名 山崎 修
	施策名	〈31〉地域文化の振興		担当者名	高橋 誠二	電話番号 0854-40-1075 (内線) 2231
	目的対象	市民	意図	地域文化を正しく理解し、文化財の保護と活用に努めるとともに、文化芸術に親しみ創造する。		
	基本事業	〈091〉文化芸術の振興		予算科目	0:150:0:1 2:5:10:1:9	大事業名 社会教育施設管理事業 中事業名 文化施設修繕事業
目的対象	市民	意図	文化芸術活動に親しむ。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
① 市民 ② 市外の人	文化芸術、伝統芸能に関する事業を企画し、市民が文化芸術活動に触れる機会の拡充を図る。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( R元 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )	老朽化が著しい文化施設(加茂文化ホール・木次経済文化会館・古代鉄歌謡館)の修繕を計画的・効率的に実施する。 ・加茂文化ホール H7.3月建築 ・木次経済文化会館 H4.5月建築 ・古代鉄歌謡館 H3.9月建築
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
① 修繕工事契約業務 ② 修繕工事工程管理 ③ 協議・指導業務	市内にある3つの文化施設はいずれも築25年以上を経過し老朽化が著しく、近年、故障が多発していた。また、耐用年数を超えた機器や交換部品等がないものも多く、計画的・効率的な修繕方法を模索している。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 文化施設(3施設)利用者数	人	91,998	29,315	39,617	43,000
イ 文化芸術に親しんでいる市民の割合	%	42.4	38.9	40.7	50.0
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
需用費(修繕費)3,576千円	財源内訳	国庫支出金	千円			11,500		
委託費8,580千円		県支出金	千円					
		地方債	千円	26,500	84,900			375,100
		その他	千円		4,500			27,700
		一般財源	千円	2,243	10,444	12,156	68	
		事業費計	千円	28,743	111,344	12,156	402,868	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	大規模修繕に向けた実施設計等が完成した。
② 事業実施するうえでの課題	指定管理者等と協議を実施し、優先度の高いものから修繕を実施した。 【令和3年度実施内容(工事請負費関係)】 ラメール/冷却水質パッキン劣化修繕、冷却水質塗装劣化、ドアフロアヒンジ破損修繕、ファンコイルユニット修繕、冷温水機修繕、ダンパモーター交換、ポテンショメータ交換、大ホール袖幕修繕
③ 課題解決に向けた改革改善等	・計画的な修繕の実施 【課題】 ・大規模改修に向けた多額の経費の確保 ・文化施設の統廃合の検討